

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (教育学部 中学校・特支・幼稚園対象) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時 (事前にメールにてアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%) 100点満点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教科書の該当部分を事前に読んで上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4時間)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業はLACSからオンライン形式(オンデマンド)で行います。視聴方法等は、LACSの「連絡事項」から連絡しますので、確認して下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 (1)
第 8 回	精神的自由権 (2)
第 9 回	経済的自由権 (1)
第 1 0 回	経済的自由権 (2)
第 1 1 回	人身の自由・国務請求権・参政権
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・財政・地方自治
第 1 5 回	裁判所・憲法改正

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 of 学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時(事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることができるような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%) 100点満点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教科書の該当部分を事前に熟読した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4時間)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須。加えて、この講義は2限連続の講義の為、初日(第1回と第2回)の講義を欠席した学生は、単位を取れませんので注意して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業はLACSからオンライン形式(オンデマンド)で行います。視聴方法等につきましては、LACSの「連絡事項」からご連絡しますので、確認して下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 (1)
第 8 回	精神的自由権 (2)
第 9 回	経済的自由権 (1)
第 1 0 回	経済的自由権 (2)
第 1 1 回	人身の自由・国務請求権・参政権
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・財政・地方自治
第 1 5 回	裁判所・憲法改正

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(教育学部小学校対象) (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部小学校専攻の1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館506		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート40点、定期試験(憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語ることができる能力等を観る)60点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前に配布するレジユメの書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で調べること(2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジユメをもとに理解を深めること(2h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなってる!? 日本国憲法 憲法と社会を考える【第3版】』法律文化社 なお、毎回の授業においてレジユメを配布するとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	コロナ禍の影響及び学生の希望を踏まえ、場合によっては対面とリアルタイムオンラインとの混合型の授業を行う場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造－立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りの半分をあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・宍戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 / Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス：授業の進め方、法と憲法と法律
第 2 回	憲法総論 1：総論・憲法史
第 3 回	憲法総論 2：象徴天皇制
第 4 回	憲法総論 3：平和主義
第 5 回	基本的人権 1：人権総論
第 6 回	基本的人権 2：包括的基本権
第 7 回	基本的人権 3：法の下での平等
第 8 回	基本的人権 4：思想・良心の自由
第 9 回	基本的人権 5：表現の自由（総論）
第 1 0 回	基本的人権 6：表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由
第 1 1 回	基本的人権 7：経済的自由、刑事手続上の権利
第 1 2 回	基本的人権 8：社会権
第 1 3 回	統治機構 1：国会、参政権
第 1 4 回	統治機構 2：内閣
第 1 5 回	統治機構 3：裁判所、憲法訴訟
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りの半分をあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス：授業の進め方、法と憲法と法律
第 2 回	憲法総論 1：総論・憲法史
第 3 回	憲法総論 2：象徴天皇制
第 4 回	憲法総論 3：平和主義
第 5 回	基本的人権 1：人権総論
第 6 回	基本的人権 2：包括的基本権
第 7 回	基本的人権 3：法の下での平等
第 8 回	基本的人権 4：思想・良心の自由
第 9 回	基本的人権 5：表現の自由（総論）
第 1 0 回	基本的人権 6：表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由
第 1 1 回	基本的人権 7：経済的自由、刑事手続上の権利
第 1 2 回	基本的人権 8：社会権
第 1 3 回	統治機構 1：国会、参政権
第 1 4 回	統治機構 2：内閣
第 1 5 回	統治機構 3：裁判所、憲法訴訟
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りの半分をあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス：授業の進め方、法と憲法と法律
第 2 回	憲法総論 1：総論・憲法史
第 3 回	憲法総論 2：象徴天皇制
第 4 回	憲法総論 3：平和主義
第 5 回	基本的人権 1：人権総論
第 6 回	基本的人権 2：包括的基本権
第 7 回	基本的人権 3：法の下での平等
第 8 回	基本的人権 4：思想・良心の自由
第 9 回	基本的人権 5：表現の自由（総論）
第 1 0 回	基本的人権 6：表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由
第 1 1 回	基本的人権 7：経済的自由、刑事手続上の権利
第 1 2 回	基本的人権 8：社会権
第 1 3 回	統治機構 1：国会、参政権
第 1 4 回	統治機構 2：内閣
第 1 5 回	統治機構 3：裁判所、憲法訴訟
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化(人文・社会科学科目) / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	The explanation in class will be given in Japanese only, therefore the syllabus will also only be given in Japanese. If you are an interest foreign student and you are not sure if your Japanese language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート80% 授業中の提出物・課題20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと(2h) 講義の内容を復習する(2h)		
キーワード/Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書/Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 -814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯 (オランダ) の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病 (ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・ カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602-1799) 15. 平戸と出島 ・ 1609年 平戸オランダ商館創立 ・ 1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 -1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 - 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 -1806) ・ De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795- 1801) ・ Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)

第10回	<p>27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・ Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) <p>28. ネーデルランデン連合公国 ・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1813年 Soeverein Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・ 1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・ 1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・ 1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) <p>29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 ~)</p>
第11回	<p>30. マクス・ハフェラル (1860)</p> <p>31. 児童労働</p> <p>32. アレッタ・ヤコブスと女性解放</p> <p>33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853-1890)</p> <p>34. 第一次世界大戦 (1914-1918)</p>
第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920-1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 - 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダの 政治・経済など
第15回	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化(人文・社会科学科目) / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート80%、授業中の提出物・課題20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと(2h) 講義の内容を復習する(2h)		
キーワード/Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書/Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	すべての講義は「対面」で行います。		

学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 -814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯(オランダ)の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病(ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・ カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602-1799) 15. 平戸と出島 ・ 1609年 平戸オランダ商館創立 ・ 1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 -1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 - 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 -1806) ・ De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795- 1801) ・ Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・ Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・ Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39) ・ 1813年 Soeverein Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・ 1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・ 1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・ 1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 -)
第11回	30. マクス・ハフェラール (1860) 31. 児童労働 32. アレッタ・ヤコブスと女性解放 33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853 -1890) 34. 第一次世界大戦 (1914 -1918)

第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920-1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 - 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダの 政治・経済など
第15回	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語 (人文・社会科学科目) / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	The explanation in class will be given in Japanese only, therefore the syllabus will also only be given in Japanese. If you are an interest foreign student and you are not sure if your Japanese language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後 連絡してから		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義である。本講義のために作成した資料を活用し、聞く・話す・書く・読むことを通して聴解・読解・文法を学ぶ。会話の中に基本の文法を取り入れ、文法を自然に身に付けることを目指す。習ったオランダ語を、実際に楽しく用いる。また、オランダの人気ある歌を紹介し、オランダの文化も紹介する。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語の聴解・読解・文法の知識を身に付ける		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 30% 定期試験 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	オランダ語、オランダ文化		
教科書・教材・参考書/Materials	オランダ語 I、オランダ語 I 文法、オランダ語 I 練習問題 (長崎大学・山下 龍)、講義で配布する。 講談社のオランダ語辞典の購入を勧める。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	他の国立で勉強ができない言語を挑戦してみましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	Les 01. Hallo, ik heet Jelle
	Les 02. Wat is uw naam?
	Les 03. Woon je hier al lang?
	Les 04. Aangenaam kennis te maken
	Les 1-4 復習
	Les 05. Mijn familie / Hoe laat is het?
	Les 06. Wat doe je vandaag?
	Les 07. Een week heeft zeven dagen
	Les 08. Afspreken
	Les 1-8 復習
	Les 09. In een restaurant
	Les 10. Spreek je Nederlands?
	Les 11. De weg vragen
	Les 12. Boodschappen
	Les 1-12 復習 模擬テスト

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語 (人文・社会科学科目) / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	オランダ・オランダ語に興味を持つ学生 The explanation in class will be given in Japanese only, therefore the syllabus will also only be given in Japanese. If you are an interest foreign student and you are not sure if your Japanese language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by e-mail. 授業中の説明は日本語のみとなりますので、シラバスも日本語のみとなります。自分の日本語能力が十分かどうか不安な方は、山下先生に直接メールでご相談ください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後 連絡してから		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義である。本講義のために作成した資料を活用し、聞く・話す・書く・読むことを通して聴解・読解・文法を学ぶ。会話の中に基本の文法を取り入れ、文法を自然に身に付けることを目指す。習ったオランダ語を、実際に楽しく用いる。また、オランダの人気ある歌を紹介し、オランダの文化も紹介する。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語の聴解・読解・文法の知識を身に付ける		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 30% 定期試験 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	講義の15回分の45分程度の宿題の課題があります。講義が始まる前の予習はありません。		
キーワード/Keywords	オランダ語、オランダ文化		
教科書・教材・参考書/Materials	オランダ語入門、オランダ語入門 練習問題 (長崎大学・山下 龍)、講義で配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	すべての講義は「対面」で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	他の国立大学で勉強ができない言語を挑戦してみましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	Les 01. Hallo, ik heet Jelle
	Les 02. Wat is uw naam?
	Les 03. Woon je hier al lang?
	Les 04. Aangenaam kennis te maken
	Les 1-4 復習
	Les 05. Mijn familie / Hoe laat is het?
	Les 06. Wat doe je vandaag?
	Les 07. Een week heeft zeven dagen
	Les 08. Afspreken
	Les 1-8 復習
	Les 09. In een restaurant
	Les 10. Spreek je Nederlands?
	Les 11. De weg vragen
	Les 12. Boodschappen
	Les 1-12 復習 模擬テスト

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230588005301	科目番号 / Course code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Course title	芸術と文化(人文・社会科学科目) / Arts and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou, 堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou, 堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	主対象、1年~4年 全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み(10点)、授業時における内容理解確認小レポート(5点×6回=30点) 推薦した文化イベントを鑑賞して提出する課題レポート(30点×2課題=60点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で取り上げられた課題について、各自テーマを選び、文献や音楽映像、ライブパフォーマンス などで理解を深める 2h		
キーワード/Keywords	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、演奏会		
教科書・教材・参考書/Materials	その都度指示します		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること。そして鑑賞した音楽作品、映像作品について、自分の言葉で意見を発表できること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面で実施		

学生へのメッセージ/Message for students	テクノロジーの急速な発展は、残念ながら私たちの心、情緒、感性を必ずしも豊かにしてくれるものではありません。この授業は、様々なジャンルの音楽作品や、映像作品、秀逸なテレビコマーシャルなどを鑑賞していただき、感じ取ったこと、気づいたこと、そして考えたことなどを、自分の言葉で語っていただく授業です。そして、できることなら、人生の友としての「舞台芸術」、その入門講座になることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「様々な映像作品に目を向けよう」
第4回	「様々な映像作品に目を向けよう」
第5回	「音楽文化活動としての音楽演奏」
第6回	「音楽文化活動としての音楽演奏」
第7回	「文化イベント・コンサートの作り方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽、その深い関係について」
第10回	「美術と音楽、そして芸術について」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス(人文・社会科学科目) / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習型の集中講義のため、COVID-19の状況により開講時期が変更になることがあります。注意してください。形態は対面のみ。 MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史, 銀行, 企業金融, 民法), 楽しむことの意義を学術的に検討し(定石, 交渉術と遊び, アクティブラーニング), さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費, サービスと経営成果, 経営リテラシー)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために, 紳士・淑女としてゲームを楽しみ, また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	ゲームへの関与(30%), 小演劇またはレポート課題(30%), 筆記試験(40%, 持ち込み可)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	レポート課題報告または小演劇にむけて教科書の入手と精読。LACSチェック。開講時までに教科書に目を通しておくことが望ましい。ゲームの流れをYouTubeで予習するのがベストだが必ずしもその必要はない。教科書やLACS講義資料をクラスの終了後や卒業後にあらためて再読すると理解が深まる。(事前2h, 事後2h)		
キーワード / Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制・税法, 民法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 林徹(2019)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対面のみ。必携PC(Windows10以上)。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	すべて対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	文教地区生協などで教科書を入手してください。交渉や取引に関心があればベストです。不動産投資、宅地建物取引、不動産賃貸経営、マンション管理（管理組合または管理組合法人）、委託管理業務（分譲マンションなど）、にも関心があればなおよいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹 / 横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中、老舗割箸小売商、有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において、横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）、その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般、トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	すべて対面で実施。 名札記入，記録帳（30％）配布，デモンストレーション，単位認定の説明
第2回	ゲーム1 とにかくやってみる
第3回	ゲーム2 とにかくやってみる
第4回	ゲーム3 ボード上のマスすべてとカード32枚の確認
第5回	ゲーム4 筆記試験（40％）案内
第6回	ゲーム5 公式ルール確認（競売，交渉・取引，家・ホテル，JAIL）
第7回	ゲーム6 公式ルール確認（キャッシュ，抵当・解除，破産，その他）
第8回	ゲーム7 不動産経営に関するサイトの紹介
第9回	ゲーム8 試験範囲に関する質疑応答
第10回	筆記試験（持ち込み可）
第11回	レポート課題または小演劇（30％）の準備・相談・手伝い1
第12回	レポート課題または小演劇の準備・相談・手伝い2，筆記試験返却と講評
第13回	レポート課題報告（単独）または小演劇1（グループまたは単独）
第14回	レポート課題報告（単独）または小演劇2（グループまたは単独）
第15回	ゲーム9 または交歓会（記録帳提出）
第16回	講評と意見交換

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	今と昔の長崎に遊ぶ(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 王 維 / Wang Wei, 増崎 英明, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明 / Kira Fumiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明 / Kira Fumiaki, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 王 維 / Wang Wei, 増崎 英明, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET RUDY, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kira_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部625研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限、木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。</p> <p>みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。</p> <p>長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していましよう。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。</p> <p>様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。</p> <p>長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。</p> <p>深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、次の2つの項目から行います。</p> <p>期末レポート 30%</p> <p>全15回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。</p> <p>コメントカード 70%</p> <p>各回の授業終わりの10分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードとしてGoogle Form等に記入します。</p>	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること(各回2時間程度の予習)。</p> <p>また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館と本学はキャンパスメンバーズの提携をしており、無料で常設展特別展を観覧できます。同博物館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運ぶことを必須とします。(各回2時間程度の復習かつ独自学習)。</p>	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』(九州大学出版会、2021年)。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です!	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 4月12日	巨樹の記憶 増崎英明 《被爆クスノキ》	A B
第2回 4月19日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》	A B
第3回 4月26日	近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲がり猫はどこからきたか 木村直樹 《長崎貿易》	A B
第4回 5月10日	交響する長崎の中国文化 おどり、りょうり、まつり 王維 《中国文化》	A B
第5回 5月17日	長崎八景 漢詩から長崎版画へ 中島貴奈 《長崎名所》	A B
第6回 5月24日	復元!被爆直前の長崎 布袋厚 《長崎の街の復元》	A B
第7回 5月31日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法稿本』》	A B
第8回 6月7日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習》	A B
第9回 6月14日	幕末期における長崎のグラバー商会と志士たち 長州藩・薩摩藩のイギリス留学 田口由香 《幕末の志士》	A B
第10回 6月21日	倉場富三郎が遺した日本西部及南部魚類図譜(通称:グラバー図譜) 山口敦子 《グラバー図譜》	A B

第11回 6月28日	長崎に誕生した西洋式病院 安武敦子 《西洋式建築》	A B
第12回 7月5日	長崎の世界遺産 「潜伏キリシタン関連遺産」の問題点と今後の課題 才津祐美子 《長崎の世界遺産》	A B
第13回 7月12日	長崎の岬を3Dで表現してみる 全炳徳 《長崎の岬》	A B C D
第14回 7月19日	軍事都市としての長崎 大平晃久 《軍事都市》	A B
第15回 7月26日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》	A B D

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230588027201	科目番号 / Course code	05880272
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16711_002		
授業科目名 / Course title	リスク社会を読み解くための人文社会科学概論(人文・社会科学科目) / "Risk Society" from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 寺田 晋, 福田 紗耶香		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 寺田 晋, 福田 紗耶香		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ(崩壊)を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であろうか。本授業では、人文社会科学諸分野の「リスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 人文社会科学諸分野で「リスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。(DP-2,4) (2) (1)の理解にもとづき、身近な社会的事象を「リスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。(DP-1,2,4)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点: 授業への積極的参加(ディスカッションやグループワークへの参加、アンケートへの回答など) 50% 課題点: レポートなど 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。(2h) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	オンライン
学生へのメッセージ/Message for students	授業への出席だけでは平常点は付与されないのをご注意ください。 グループワークやディスカッションへの参加、アンケートへの回答などが要件となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに 「リスク社会」とは何か
第2回	リスク社会における専門知と信頼
第3回	リスクと社会政策
第4回	リスク社会論における「不安」の再検討
第5回	リスク社会における「境界文化」研究の可能性
第6回	現代社会におけるリスクと宗教(1)
第7回	現代社会におけるリスクと宗教(2)
第8回	リスク社会と教育(1)
第9回	リスク社会と教育(2)
第10回	途上国における母子保健課題
第11回	貧困社会におけるリスクの多様性
第12回	クルド人問題 - グローバルリスク社会を背景に - (1)
第13回	クルド人問題 - グローバルリスク社会を背景に - (2)
第14回	紛争とリスク社会
第15回	リスク社会と安全

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594000301	科目番号 / Course code	05940003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	アフリカ入門(人文・社会科学科目) / Introduction to African Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐藤 靖明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐藤 靖明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐藤 靖明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sato nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールかLACSのメッセージで連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アフリカは、自然・人類の多様性、さまざまな魅力や地球的課題が凝集した大陸である。そして、21世紀は「アフリカの世紀」とも言われている。しかし、日本の私たちの多くが抱くアフリカへのイメージは、まだ豊かになっているとは言えない。そこでこの科目では、アフリカへの知的関心を高めながら、アフリカの特徴を理解するために必要な基礎知識を、対話をとおして学んでいく。そして、一歩進めて「私たちにとってアフリカとは何なのか」について議論するための力を養う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ地域の基本的な知識を身につける。 ・アフリカの関係者と主体的にコミュニケーションするための力を身につける。 ・アフリカと日本の両方の視点から世界を理解する態度・志向性を身につける。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(50点) + 最終試験による評価(40点) + 授業への取り組み(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に参考資料を紹介する。それに目をおした上で講義に臨むこと。(2h) 復習: 参考資料と授業中の資料、メモを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	アフリカ、進化、生業、リネージ、クラン、民族、国家、植民地、紛争、感染症、アフリカ 日本関係		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定せず、おもに以下の書籍を参考しながら授業を進める。 船田クラークンさやか(編)『アフリカ学入門 ポップカルチャーから政治経済まで』明石書店、2010年 松田素二(編)『アフリカ社会を学ぶ人のために』世界思想社、2014年 宮本正興・松田素二(編)『新書アフリカ史(改訂新版)』講談社、2018年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	アフリカをより身近に感じてもらうため、ゲストをお呼びして議論を行うことがあります。その日程によって、授業の回がずれることがあります。 対面12回、オンライン4回
学生へのメッセージ/Message for students	私は、学生の頃にアフリカを知ること、その後の人生や見える世界が(良い意味で?)すっかり変わってしまいました。この授業が、みなさんの心の中の「アフリカへの扉」を開く一助になれるとうれしいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【イメージとしてのアフリカ】アフリカにかかわる経験とイメージを確認する。また、アフリカを学ぶことの意義を意識する。
第2回	【アフリカの多様性・歴史性・同時代性】アフリカを理解する上でのキーワードと、それらの意味を理解する。
第3回	【自然(1)】人びとが生活する上での基盤となる自然と生態環境の特徴を理解する。
第4回	【自然(2)】霊長類の進化と人類誕生までの過程を理解する。
第5回	【暮らしと文化(1)】自然に依存する生業(狩猟・採集・農耕・牧畜)の特徴を理解する。
第6回	【暮らしと文化(2)】農村と都市の暮らしの実相を理解し、日本との共通点や違いを考える。
第7回	【暮らしと文化(3)】アフリカ社会を形づくる出自・居住様式のしくみを理解する。
第8回	【暮らしと文化(4)】アフリカにおける言語、民族、国家とそれらの関係を理解する。
第9回	【歴史(1)】歴史(王国形成、「アフリカの発見」、奴隷貿易、植民地支配)の流れを追う。
第10回	【歴史(2)】独立以後の政治経済的な変化を、いくつかの文脈に位置付けて整理する。
第11回	【現代の課題(1)】各地で起こっている紛争の問題とその背景を理解する。
第12回	【現代の課題(2)】感染症の問題とその背景を理解する。
第13回	【アフリカと日本(1)】ゲストとの対話をとおして、アフリカの社会を学ぶとともに、アフリカから見た日本についても考えを深める。
第14回	【アフリカと日本(2)】ゲストとの対話をとおして、アフリカの社会を学ぶとともに、アフリカから見た日本についても考えを深める。
第15回	【まとめ】授業全体の復習をおこない、私たちとアフリカの関係について話し合う。
第16回	最終試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594000901	科目番号 / Course code	05940009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	お金を通して社会・人間を考える(人文・社会科学科目) / Money, Society and Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	afukaura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	095-820-6359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜日午後2時から午後3時まで。 教官研究室(東南アジア研究所210、095-820-6359、afukaura@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	受講生ははじめて体系的な経済学に触れるという前提に立ち、経済学的な考え方・視点を学ぶことを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	長崎大学が掲げる卒業時の人物像(共有学士像)形成の基盤を作り上げる。 現代社会が直面しているテーマを学びながら、批判的精神や探求能力を育成する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学期末試験(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各章ごとに講義内容に対応した練習問題が設置されている。		
キーワード/Keywords	経済活動・貨幣・金利		
教科書・教材・参考書/Materials	LACSにアップロードした講義資料にしたがって講義を行う。講義資料は後日LACSに公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	原則として対面授業を行う。ただし感染状況によっては変更もありうる。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会科学の視点・経済学の視点
第2回	交換経済とその効果：交換と私的所有権
第3回	交換経済とその効果：同意に至る路・ゲーム理論
第4回	交換経済とその効果：パレート最適と比較優位
第5回	消費者の意思決定プロセス：消費量の決定と需要法則
第6回	消費者・生産者の意思決定プロセス：需要法則と利潤最大化原則
第7回	需要法則と利潤最大化原則の例外
第8回	貨幣と経済活動：欲望の二重の一致
第9回	貨幣と経済活動：貨幣の多面性
第10回	不確実性の経済学：期待効用・モラルハザード
第11回	不確実性の経済学：自己選抜
第12回	市場の失敗：公共財
第13回	市場の失敗：中古車売買・独占
第14回	経済活動と時間：利子率の効果
第15回	経済活動と時間：利子率の効果

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594001701	科目番号 / Course code	05940017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	異文化理解の実際(人文・社会科学科目) / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 廣江 颯 / Akira Hiroe, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 廣江 颯 / Akira Hiroe, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (廣江) mkumagami nagasaki-u.ac.jp (隈上) eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2378 (廣江) (095)819-2087 (大橋)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、まず、日本語、英語という言語を起点にし、日英の言語文化の共通点、相違点を比較検討する。さらに、異文化理解をするうえで、「衣」「食」等の身近な話題から、海外の文化や風習など様々な話題を考察することができる。最後に年々増加している国際結婚を通して、それぞれの国の社会、宗教、政治、法律の相違を調査し、他者的な視点で自己の理解を相対化し、相互理解を深める。文化という言葉の起源を探り、コミュニケーションや文脈という観点から共生思想を熟考することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	アクティブラーニングを取り入れた授業方法を取り、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつける。 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考し、それを発表することを通し多様性を理解する能力を身につける。 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることを目標とする。 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	大橋(35%), 隈上(35%), 廣江(30%) *詳しい内訳は、授業時にアナウンスする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間		

キーワード/Keywords	異文化理解、語、文化、共生思想、長崎	
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書は採用しない。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各人が 1)プレゼンテーションをする 2)ディベートに参加する 3)レポートを書く 4)授業外学習に週平均2時間程度を充てること、参考資料をきちんと読むこと。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式（Zoomを使用）で行う場合は、事前にメールで配信する。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校 隈上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	担当教員：隈上 第二言語習得1「言語(習得)を科学する：英語習得の何が難しいのか？ < 1 > 1) 第二言語習得研究概論：第二言語としての英語習得研究の目的と歴史を概観する。 2) 長崎における英語習得：長崎における英語学習環境をもとに、日本人による英語習得に関して何が難しいのか、理想的な学習環境とはいかなるものかなどディスカッションする。	A B
第2回	担当教員：廣江 オリエンテーション（授業の概要の説明） 1)「ステレオタイプ論」 日常に溢れるステレオタイプ的なものの捉え方の具体例を、グループで可能な限り出し合い、そのイメージがどうやって作られ浸透してきたのかを分析し議論する。	A B
第3回	担当教員：隈上 第二言語習得2「言語習得の問題を科学的に考える：日本語は習得が難しい言語なのか？ < 2 > 1) 第二言語としての日本語習得：注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) アメリカでの日本語教育に関して、大学での授業や日本人学校の取り組みがどのようなものであるか理解する。 3) 長崎における日本語習得：長崎での日本語習得の機会（大学の授業、地域の日本語講座など）について調べ、海外（例：アメリカ）との違いを理解する。	A B
第4回	担当教員：廣江 2)グローバル化に伴う日本的諸問題 日本における「外国人留学生」、「帰国子女」といった用語をキーワードとして、グローバル化に伴う一般的日本人にありがちな陥穽について議論する。	A B

第5回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得3「留学すれば外国語習得がうまくいくのか？< 3 ></p> <p>1) 言語習得における様々な要因（年齢、学習環境、母語の特徴など）について提案されている言語習得仮説（例：臨界期仮説）について理解する。</p> <p>2) 授業内容をもとに理想的な言語学習環境についてディスカッションし、グループごとにまとめる。</p>	A B
第6回	<p>担当教員：廣江</p> <p>3)Lost in Translationの視聴</p> <p>日本の「外国人」がもつ日本のイメージ(1)</p>	A B
第7回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得4「多言語社会、多言語話者とは？：多言語で生活することのメリット・デメリット< 4 ></p> <p>1) バイリンガリズム：ニューヨークの子どもの例をもとに、一言語環境と多言語環境の違いを理解する。</p> <p>2) 長崎におけるバイリンガル環境：留学生の例など長崎における多言語環境をいくつか紹介し、多言語を使いこなすことの利点や異文化における言語能力の重要性についてディスカッションする。</p>	A B
第8回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて</p> <p>4) Lost in Translation視聴</p> <p>日本の「外国人」がもつ日本のイメージ(2)</p>	A B
第9回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得5「多言語社会と社会（健康、環境）問題：健全な多言語社会とは？< 5 ></p> <p>1) 多言語共生：これまでの授業で学んだ第二言語習得における問題（習得障害要因）を整理し、日本における理想的な多言語環境のあり方についてディスカッションする。</p> <p>2) 多言語社会の課題：長崎において日常見受けられる異文化対応（他言語での表示、多言語対応のガイド等）をあらかじめ見付け、それらの効果や問題についてまとめ発表する。</p>	A B
第10回	<p>担当教員：廣江</p> <p>Lost in Translation視聴後、グループ・ディスカッションを行い、発表を行う。</p> <p>外国人留学生2名によるプレゼン</p>	A B
第11回	<p>担当教員：大橋</p> <p>国際結婚の相違について< 1 ></p> <p>1) 国際結婚をテーマとし、アクティブラーニング型の授業を実施することを説明する</p> <p>2) 「日本の結婚制度の成立」、「欧米のキリスト教社会の結婚」「中東、アフリカのイスラム教社会の結婚」「アジア各国の結婚（韓国、中国、東南アジア）」の歴史と現状についてバランスよく情報を提供する。</p>	A B
第12回	<p>担当教員：大橋</p> <p>テーマとゴールの設定< 2 ></p> <p>1) 国際結婚にかんする映画を見る。</p> <p>2) それに基づいて各チームで国際結婚についてのテーマを考える（結婚、離婚、養育権、一夫多妻、宗教、恋愛など）</p> <p>3) 各グループで具体的に何をテーマにすべきかを考え、役割分担、各自の仕事を確認する。</p>	A B
第13回	<p>担当教員：大橋</p> <p>情報リサーチ < 3 ></p> <p>1) インターネット、書籍、新聞、映画等から各自で集めた情報、あるいは外国人にインタビューした結果をグループで共有する。</p> <p>2) 情報の取捨選択・分析し、討論する。</p>	A B
第14回	<p>担当教員：大橋</p> <p>発表準備< 4 ></p> <p>1) グループでパワーポイントあるいはロイロノートでスライド作成。</p>	A B
第15回	<p>担当教員：大橋</p> <p>プレゼンテーション< 5 ></p> <p>1) 各グループで、プレゼンテーションをして質疑応答をする。</p> <p>2) それらを学生相互で採点する。</p>	A B

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	環境問題の歴史から学ぶ(人文・社会科学科目) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / Ota Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / Ota Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標 / Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	復習 : 講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード / Keywords	環境問題、公害、社会システム、資源利用		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 / Remarks			

学生へのメッセージ/Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/14, 3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/14, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/21, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/21, 4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/28, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/28, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 7/5, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 7/5, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/12, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/12, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/19, 3限	大田担当 近代以前の資源循環
第12回 : 7/19, 4限	大田担当 食料生産と土地利用
第13回 : 7/26, 3限	大田担当 日本における人間-森林関係
第14回 : 7/26, 4限	大田担当 世界各地の人間-森林関係
第15回 : 8/2, 3限	大田担当 人類の未来と資源利用を考える

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	環境問題の歴史から学ぶ(人文・社会科学科目) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(環境科学部生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標/Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べるができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習: 講義内容の復習(1コマ毎 4h)		
キーワード/Keywords	環境問題、公害、社会システム、資源利用		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	1回目から5回目までの講義は対面での実施となります。6~15回目までは講義開始後にアナウンスします。		

学生へのメッセージ/Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/14, 3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/14, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/21, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/21, 4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/28, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/28, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 7/5, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 7/5, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/12, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/12, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/19, 3限	大田担当 近代以前の資源循環
第12回 : 7/19, 4限	大田担当 食料生産と土地利用
第13回 : 7/26, 3限	大田担当 日本における人間-森林関係
第14回 : 7/26, 4限	大田担当 世界各地の人間-森林関係
第15回 : 8/2, 3限	大田担当 人類の未来と資源利用を考える

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594002901	科目番号 / Course code	05940029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	芸術の世界(人文・社会科学科目) / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmakino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の美術の概観の学習と、簡単な素描を通して、美術の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1、近代以降の美術史と問題意識が理解できるようになる。 2、素描を通して、その仕組みが理解できるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	LACSIに1500点分の問題あるいはレポートを用意し、講義において授業をした後、回答する。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 適宜、講義内で指示します。(2H) 復習: 適宜、講義内で指示します。(2H)		
キーワード/Keywords	素描・近代美術		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	素描を中心に行うため、鉛筆など素描用具が必要です。オリエンテーション時に詳細をお知らせします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は、オンラインと書かれたものについてはリアルタイムで実施します。対面と書かれたものについては、講義室で授業を行います。初回で授業計画を説明しますが、状況によっては、変更する場合があります。その際は、LACSで連絡します。また、授業ごとに素描した作品は、最終回で、実物をまとめるのに使用しますので、捨てないようにしてください。	
学生へのメッセージ/Message for students	学習内容を他人に伝えられるように、復習を重点的に行ってください	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションと近代以降の美術の造形意識について(オンライン)	A
第2回	基本形態と明度・彩度とパースペクティブなどの造形のルールについて(オンライン)	A
第3回	素描(直方体・立方体)について(オンライン)	A C
第4回	素描(球・円柱)について(オンライン)	A C
第5回	素描(多面体)について(オンライン)	A C D
第6回	素描(複数の基本形態の組み合わせ)について(オンライン)	A C D
第7回	構図と素描の関係について(対面)	A C
第8回	素描(想定された状況における造形)について(対面)	A D
第9回	素描(支持体の明度が反転した状況における)の概念について(対面)	A D
第10回	素描(支持体の明度が反転した状況における)の実際について(対面)	A D
第11回	素描と関係(完成度)について(対面)	A D
第12回	素描と関係(パルルール)について(対面)	A D
第13回	素描(自画像)描きだしについて(対面)	A D
第14回	素描(自画像)完成について(対面)	A D
第15回	まとめ(対面)	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594003101	科目番号 / Course code	05940031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	国際比較刑事法入門 グローバル化する犯罪と刑事手続(人文・社会科学科目) / Introduction to International Comparative Criminal Law : Globalization of Crimes and Criminal Procedure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前に連絡してアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法等)の基礎について学習する。各国の国内法によってどのような行為が犯罪となるのかは異なる。また、犯罪に対する刑罰についても同様に異なる。日本の刑法では死刑が刑罰の一つに規定されているが、死刑をめぐる「人権」との関係で国際社会による批判もある。どのような人権が憲法・基本法で保障されているのか、人権の保障も各国の国内法の内容は様々である。犯罪がグローバル化する中で、各国の間では刑事司法共助に関する条約の締結が進められているが、刑事司法共助をめぐる課題は多い。本授業では、日本の刑事法を中心に学習しながら、「香港における人身の自由」やカルロス・ゴーン国外逃亡の問題等にもふれ、「外」の視点(グローバルな視点)も重視しながら、各国の「法」を比較することにより日本の刑事法について見つめなおす。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」ことを目的とする(全学共通のディプロマ・ポリシー)。既存の法及び制度を批判的に論じ、よりよい法や制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。万が一オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めるところもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書については、事前の予習、事後の復習の教材としても役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード/Keywords	刑法, 刑事訴訟法, 少年法, 犯罪, 刑罰, 刑事手続, 刑事司法共助		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】河村有教『入門刑事訴訟法【第2版】』（晃洋書房，2022年） 教科書等については、初回の講義で教科書・参考書等の説明を聞いて確認したうえで購入してください。</p> <p>『ポケット六法』（有斐閣）の購入をお勧めします（『デイリー六法』（三省堂）も可です）。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	本講義は、すべて対面で実施する予定です（試験を含みます）。
学生へのメッセージ/Message for students	文系の学生のみならず、刑法、刑事訴訟法、少年法等の刑事法に関心のある理系の学生を歓迎します。法律の条文を自分の目で確認しながら、楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「法」とは何か？「法」は私たちの生活にどのような意義を有しているのか？
第2回	私たちが法的責任を問われるとき－刑事事件と民事事件
第3回	人身の自由とDue Process of Lawの保障
第4回	刑法と罪刑法定主義－「香港における人身の自由」を考える
第5回	絞首刑（死刑）という刑罰について考える
第6回	警察による犯罪の予防と犯罪の捜査－法律と判例による統制
第7回	GPS捜査は任意捜査として許されるのか？－日米の判例から
第8回	警察による強制的な身柄確保・拘束－国外逃亡者カルロス・ゴーンの声明を考える
第9回	警察による強制的な証拠の収集
第10回	死因究明における調査と犯罪捜査の課題－法医学への期待
第11回	検察官による公訴の提起
第12回	検察審査会について考える
第13回	刑事裁判における事実認定と量刑
第14回	刑事裁判での使ってよい証拠とよくない証拠
第15回	刑事裁判と少年審判は何がどう違うのか？
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594003301	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	市民社会と法(人文・社会科学科目) / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうる身近な6つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。</p> <p>この授業は5・6校時に連続で行うので、基本的にその連続した時間で一つのテーマを扱う。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>私法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。</p> <p>社会における具体的な問題について、法的思考力をもって論じることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	<p>予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h)</p> <p>復習 配布資料やノートを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	LACS上で資料を配布し、必要に応じて参考文献を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		
備考 / Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第7回	法とは1(基礎) さまざまな法分野、裁判制度を概観する。また、市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、裁判員制度への理解を深める。
第8回	法とは2(発展)
第1回	家族と法1(基礎) 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第2回	家族と法2(発展)
第3回	相続と法1(基礎) 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。
第4回	相続と法2(発展)
第5回	ジェンダーと法1(基礎) 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているかについて学ぶ。
第6回	ジェンダーと法2(発展)
第9回	消費者と法1(基礎) 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第10回	消費者と法2(発展)
第11回	不動産と法1(基礎) 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。
第12回	不動産と法2(発展)
第13回	事故と法1(基礎) 他人の持ち物をうっかり壊した場合に「弁償する」などという。また、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の「損害賠償」という語を教わるだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。
第14回	事故と法2(発展)
第15回	総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594003501	科目番号 / Course code	05940035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	社会と教育(人文・社会科学科目) / Education in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	酒井 友文		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 友文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 友文		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomohumi nagasaki-ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(酒井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2903		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール対応(随時)tomohumi nagasaki-ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学力、いじめ等支援を要する児童への対応、防災教育等、現在日本の教育が抱えている課題について理解するとともに、グローバル化、超少子高齢化等、急激に変化する社会の中で求められる教育の在り方や自身が身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Course goals	教育課題及び教育現場の現状・取組みについて理解し説明することができる。 職業人、社会人、家庭を築く人として教育にどのように向き合えばよいか具体的に述べることができる。 教育に対し自分の意見を持ち、自ら学びに向かう力を高めるための実践ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・課題、協議等への参画(70%) 試験(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	次時のテーマに関連した事前学習や授業後の振り返り課題を提示。		
キーワード/Keywords	求められる学力 家庭・地域社会・学校の連携 危機管理(子どもの心と命)		
教科書・教材・参考書/Materials	学習指導要領、教育委員会等行政機関が発行している資料、新聞・インターネット等で取りあげられている記事及び配布資料等		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業は対面方式で実施します。状況によって変更する場合はLACSで連絡します。		

学生へのメッセージ/Message for students	やがて改めて教育と向き合う時がきます。教育を通して見える社会、社会の変化を通して見える教育の姿を協議を通して深めたいと考えています。次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として求められる資質・能力について考える機会にしましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	酒井友文/小学校教員の経験あり。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回11月29日(水)	教育の現状・課題1(対面)	A B
第2回11月29日(水)	教育の現状・課題2(対面)	A B C
第3回12月6日(水)	求められる学力1(対面)	A B C
第4回12月6日(水)	求められる学力2(対面)	A B C
第5回12月13日(水)	学校における危機管理1(対面)	A B C
第6回12月13日(水)	学校における危機管理2(対面)	A B
第7回12月20日(水)	支援を要する児童生徒1(対面)	A B C
第8回12月20日(水)	支援を要する児童生徒2(対面)	A B
第9回1月10日(水)	家庭・地域の教育力1(対面)	A B
第10回1月10日(水)	家庭・地域の教育力2(対面)	A B
第11回1月17日(水)	ふるさと教育とグローバル社会1(対面)	A B C
第12回1月17日(水)	ふるさと教育とグローバル社会2(対面)	A B
第13回1月24日(水)	キャリア教育1(対面)	A B C
第14回1月24日(水)	キャリア教育2(対面)	A B C
第15回1月31日(水)	社会と教育まとめ(教育の不易と流行)(対面)	A B D
第16回1月31日(水)	テスト(小論 2題予定)(対面)	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594004101	科目番号 / Course code	05940041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	租税と社会(人文・社会科学科目) / Tax and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato@nagasaki-u.ac.jp (メール送信時は を@に変更してください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス(片淵キャンパス)の本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	租税の概略について、社会との関わりに触れつつ解説する。このことを通じて、租税の社会における役割などを理解する。なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	租税の仕組みなどについて把握するとともに、租税の社会における役割などを理解した上で、今後の租税のあり方などについて自ら考えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点20点、期末試験80点(追試についてはレポート)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	所得税の部分については、計算方法の予習を行うことが望ましい。一般的な事前、事後学修の内容は以下の通り。 準備学習: Web上に事前に講義用スライドを掲載するので、あらかじめ目を通して講義の流れを把握しておく(2h) 復習: 講義ノートおよびWeb上の資料により復習を行う。特に、講義中に行う確認テストについては復習によりよく理解しておくこと(2h) 質問がある場合には、わからないままにしておかず、必ず教員に質問して解決すること		
キーワード/Keywords	租税、税、税務行政、租税手続き		
教科書・教材・参考書/Materials	不要とする代わりに、授業にはPCを持参してください。法令検索やグループワークに使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面ですが、能動的に租税に対する理解を深められるよう、グループワークを取り入れます。
学生へのメッセージ/Message for students	初回の授業で示します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤 隆宏 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験を活かし、授業を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業の進め方・予定など）
第2回	租税と社会について
第3回	租税と社会について
第4回	租税と社会について
第5回	租税と社会について
第6回	租税と社会について
第7回	租税と社会について
第8回	租税と社会について
第9回	租税と社会について
第10回	租税と社会について
第11回	租税と社会について
第12回	租税と社会について
第13回	租税と社会について
第14回	租税と社会について
第15回	租税と社会について
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594004301	科目番号 / Course code	05940043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	地域経済とソーシャルビジネス(人文・社会科学科目) / Regional Economy and Social Business		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部東南アジア研究所2F		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	Eメールにて質問を受け付ける。 junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	地域経済とソーシャルビジネスの定義、現状や課題を踏まえて、SDGs、ESG、エシカルやプラネタリーヘルスなどの視点から、個人や組織の社会性と地域経済の持続可能性との関係について座学やグループワークによって学びます。		
授業到達目標 / Course goals	1. 地域社会における多様性の重要性について説明できる。 2. 地域社会において社会性と経済性を両立することの重要性や方法について説明できる。 3. 1と2を踏まえて、地域社会の持続可能性について他者と協働して検討できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	プレゼンテーション課題50点 + レポート課題50点 = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 次回講義で採り上げる事例等について、新聞、TVやインターネットから情報を収集・整理する(2h)。 復習: 講義で配布された資料を再読し、理解を確実なものとする(2h)。		
キーワード / Keywords	地域経済、ソーシャルビジネス、SDGs、ESG、エシカル消費、持続可能性		
教科書・教材・参考書 / Materials	担当教員作成の資料をLACSにて配布・使用するため教科書等は指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	新型コロナウイルス感染症の状況や受講生の人数によっては、zoomによるオンライン実施も検討しますので、本講義前後の時間割等に注意してください。
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済やソーシャルビジネスの現状や課題についてアンテナを高く張って自ら情報を収集することを心がけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回4月12日(水)3校時	講義ガイダンス
第2回4月12日(水)4校時	地域経済の基礎理論 1
第3回4月19日(水)3校時	地域経済の基礎理論 2
第4回4月19日(水)4校時	地域経済の現状 1 : 長崎県を例に
第5回4月26日(水)3校時	地域経済の現状 2 : 長崎県を例に
第6回4月26日(水)4校時	ソーシャルビジネスの概論
第7回5月10日(水)3校時	ソーシャルビジネスの事例
第8回5月10日(水)4校時	ソーシャルビジネスの課題
第9回5月17日(水)3校時	グループワーク 1 : 地域課題の発見
第10回5月17日(水)4校時	グループワーク 2 : 地域課題の整理
第11回5月24日(水)3校時	グループワーク 3 : 地域課題の解決にかかるアイデア
第12回5月24日(水)4校時	グループワーク 4 : 地域課題の解決にかかる活動計画
第13回5月31日(水)3校時	プレゼンテーション 1
第14回5月31日(水)4校時	プレゼンテーション 2
第15回6月7日(水)3校時	講義のまとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594004501	科目番号 / Course code	05940045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	都市環境を考える(人文・社会科学科目) / Introduction to Urban Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部の学生は除く		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	twatanab nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部4F 430		
担当教員TEL / Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>授業の概要：第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,4,5回目)、緑地(6,7回)、市街地とまちづくり(8,11,12回)、交通(9,10回)、広域計画(13,14,15回)に関わる講義が行われる予定である。</p> <p>授業の位置づけ：本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都市環境を考える際の視点を獲得するための科目です。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されていることを理解する、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験：70%、修学状況：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	<p>予習：授業内容に記載された内容に係る情報を新聞・テレビ・インターネットなどにより調べること。(2h)</p> <p>復習：レジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	都市環境、景観、緑地、里山、斜面市街地、交通、まちづくり、国土・地方計画		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>教材：ハンドアウトを配付する予定です。</p> <p>参考書：講義時に各教員が指示する予定です。本講義に大きく関係する参考書としては、以下があります。</p> <p>谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012)：もう一つの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性・晃洋書房</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業は、原則、直接対面形式により実施します。授業形式を変更する場合には、LACS等を介して、連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知ることは、本講義の内容を理解する上でとても有用です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入：講義の概要，計画とは何か（渡辺）
第2回	都市環境とは何か，長崎市の概要（渡辺）
第3回	景観の基礎知識（渡辺）
第4回	長崎市の景観の特徴（渡辺）
第5回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて（渡辺）
第6回	都市環境の形成に果たす緑地の役割（渡辺）
第7回	長崎市の緑地の特徴（渡辺）
第8回	長崎の住宅地の現状と課題（渡辺）
第9回	長崎県における地域公共交通の現状（片山）
第10回	斜面市街地の交通システム（片山）
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり（片山）
第12回	都市環境の形成と都市計画（片山）
第13回	都市環境と広域的視点（片山）
第14回	広域計画にみる長崎（片山）
第15回	長崎の活性化と広域連携（片山）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594004901	科目番号 / Course code	05940049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	被ばくと社会(人文・社会科学科目) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター(RECNA) 鈴木教授室		
担当教員TEL/Tel	鈴木達治郎 (095-819-2947)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火、木、午後4:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「被ばく」という言葉の意味(原爆のみならず、自然放射線や原子力平和利用からの放射線被ばくも含む)を理解するとともに、被爆体験の継承、在外被爆者の実態と課題、平和教育、原爆資料保存の意義と継承の課題、などについて理解を深め、被爆体験や遺構の継承についてその意義とあり方について自ら考える。		
授業到達目標/Course goals	授業は、多様な視点から講義とグループディスカッションによって構成される。講義の内容を理解するとともに、その内容をもとに課題を自ら見つけ出し、その解決方法や自分たちができることを、学生同士のグループディスカッションを通じて、自ら考え、意見を形成していく。情報をただ受け取るだけでなく、自ら情報を取りに行き、そして自ら考え行動できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 30点、各テーマのレポート 15点×3=45点、最終レポート 25点 合計100点満点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は特にない。毎回講義後に感想シートとキーワードを提出。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	米澤 紀子/株式会社テレビ長崎 報道部の実務経験を有している。/株式会社テレビ長崎 (報道部) の実務経験を活かし、韓国人被爆者に焦点を当てたテレビ報道や、緻密な取材に基づき、被爆問題の広がりや次世代への継承に関する授業を実施する。/ 林田 光弘/高校生平和大使、被爆者国際署名運動のキャンペーンリーダーなど、学生時代より平和活動に従事。長崎大学核兵器廃絶研究センターでは、被爆前の写真をデジタル化して教材化するプロジェクトに従事。長年の平和活動の経験を通じた継承活動の在り方について講義する/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (鈴木達治郎) 講義概要の説明、自己紹介
第2回	第2回 原爆被害の概要 山口 響
第3回	第3回 被爆後・占領下の長崎 山口 響
第4回	第4回 「被爆者」とは誰か? 山口 響
第5回	第5回 長崎原爆被災の概要に関するまとめ 鈴木 達治郎
第6回	第6回 被爆の実相伝承のデジタル化について 林田 光弘
第7回	第7回 報道を通して「原爆被害」を考える(1) 橋場 紀子
第8回	第8回 報道を通して「原爆被害」を考える(2) 橋場 紀子
第9回	第9回 報道を通して「原爆被害」を考える(3) 橋場 紀子
第10回	第10回 「デジタル化・報道を通して原爆被害を考える」に関するまとめ(学生の意見交換) 鈴木達治郎
第11回	第11回 原爆と歴史(1) 奥野 正太郎
第12回	第12回 原爆と歴史(2) 奥野 正太郎
第13回	第13回 原爆と歴史に関するまとめ(学生の意見交換) 鈴木 達治郎
第14回	全体のまとめの議論(学生のグループワーク)鈴木 達治郎
第15回	学生の発表 鈴木達治郎

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594005101	科目番号 / Course code	05940051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	文字と社会(人文・社会科学科目) / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keiko-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標 / Course goals	1) 自分自身の「文字と社会」力を客観的に認識することができる。 2) 日常文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。 3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [10%] OB訪問報告書 [30%] 第2単元に関する提出物 [30%] 試験 [30%]		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後(各2h)の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード / Keywords	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回(4/12)	オリエンテーション、受講基礎調査 1冊、自分が所有している本を持参する(コミック以外)
第2回(4/12)	自己紹介のための自己分析, 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回(4/19)	グループ分け、グループでの自己紹介
第4回(4/19)	グループ内自己紹介
第5回(4/26)	言語景観 - 本の広告10
第6回(4/26)	図書館調査準備
第7回(5/10)	図書館体験;(配架、POP書き)/(資料保全、補習)
第8回(5/10)	長崎大学図書館体験;(資料保全、補習)/(配架、POP書き)
第9回(5/17)	図書館調査(長崎市図書館、ミライon図書館、郷土資料センター)
第10回(5/17)	図書館調査報告のレポート執筆
第11回(5/24)	図書館体験、図書館調査の報告(グループ、全体)
第12回(5/24)	あらし読み入門
第13回(5/31)	ビブリオバトル(グループ予選、投票)
第14回(5/31)	ビブリオバトル(グループ代表による決勝)
第15回(6/7)	ビブリオバトルで選んだ本について評論する
第16回(6/9)	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2023/04/10 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594005301	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	法学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	西久保 h-nishikubo nagaskai-u.ac.jp 菊池 hkikuchi nagasaki-u.ac.jp 本庄 mhonjo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	西久保 環448 菊池 環406 本庄 環426		
担当教員TEL/Tel	西久保 095-819-2717 菊池 095-819-2725 本庄 095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	西久保 木曜日1200-1300 菊池 水曜日1100-1200 本庄 随時(事前にメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	法とは何か、法の意義と役割、法の支配など法に関する基本的な考え方や知識を学ぶとともに、日本国憲法に基づく個人の尊重、国民の権利の保障、裁判員制度を含む司法の仕組みなどの国のなりたちや、家族、契約、財産、労働など私たちの暮らしに関係する法のあらましを学びます。		
授業到達目標/Course goals	法に関する基本的な考え方や知識、日本国憲法に基づく国の仕組み、及び私たちの暮らしに関係する法の概略を理解し、その概要を説明できることが本授業の到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(80%)、授業への積極的な取組状況(20%)の割合で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACS上に事前に講義資料を掲載するので、あらかじめ目を通して分からない点を確認しておく(2h) 復習: 講義資料により復習を行い、講義内容を理解しているか確認する(2h)		
キーワード/Keywords	法の支配、基本的人権、三権分立、罪刑法定主義、契約の自由		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 「法学入門(第6版補訂版)」末川 博倫(2014年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面	
学生へのメッセージ/Message for students	法律というとなんだか難しそうですが、私たちが生まれた時から身近にあるものであり、トラブルに巻き込まれたときはもちろん、そうでなくても日常生活の中に常について回るものですので、この授業で法学の基礎について学んでいただければと考えています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション：西久保、菊池、本庄	A
第2回	家族と法(参考書第10講)：西久保	A
第3回	契約の自由(参考書第11講)：西久保	A
第4回	財産(参考書第12講)：西久保	A
第5回	損害賠償(参考書第13講)：西久保	A
第6回	労働者の権利(参考書第14講)：西久保	A
第7回	近代国家と憲法、権力分立(参考書第6講、第7講)：菊池	A
第8回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第9回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第10回	犯罪と処罰(参考書第9講)：菊池	A
第11回	法学を学ぶにあたって、法とは何か(参考書序講及び第1講)：本庄	A
第12回	法の発展(参考書第2講)：本庄	A
第13回	法と裁判、裁判の基準(参考書第3講及び第4講)：本庄	A
第14回	法の解釈(参考書第5講)：本庄	A
第15回	まとめ：西久保、菊池、本庄	A
第16回	筆記試験	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594007101	科目番号 / Course code	05940071
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	社会理論入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Social Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	寺田 晋		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	寺田 晋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	寺田 晋		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuniyuki.terada nagasaki-u.ac.jp (を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階(多文化社会学部)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問がある場合はEメールで事前に日時を相談してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いわゆる「理系」と呼ばれる自然科学の学問に対し、「文系」と呼ばれる人文学と社会科学の学問には、独特の曖昧さやつかみどころのなさがあります。なかでも社会学は、他の社会科学や自然科学のように、数値で表されたデータを統計的に分析する手法をとることもあれば、哲学や文学といった人文系の学問のように、言葉を通じて対象を理解する手法をとることもあるという点で、わかりにくいところのある学問です。ですが、このような雑多な手法を取り入れて発展してきた社会学の、良くいえば開放的な、悪くいえばどっちつかずの性格には、きちんとした理由があります。この授業では、その理由を、そして、なぜ社会学という学問が必要なのかを学んでいきます。社会学にはどのような理論があるのかを知り、その特徴と意義を説明できるようになることが、この授業の目的です。授業では、そもそも科学とはどういうものなのかということからじっくりと考えていきますので、社会学自体には興味のない方も、自分がこれから学んでいく学問の特徴について考える手がかりを得ることができるでしょう。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学とは異なる社会科学の特徴を説明できる。 ・代表的な社会理論の特徴とその意義を説明できる。 ・科学と社会とのかかわりについて自分の考えを文章でまとめることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の発言・課題への取り組み・コメントシートの内容(50点) + 最終レポート(50点) = 合計 100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】LACSにある資料を読み、知らない言葉の意味を調べ、疑問点をまとめておくこと。(2h) 【復習】講義の内容をまとめ、自分の言葉で説明できるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	社会理論、認識論、規範理論		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業は基本的には講義形式で行いますが、自分で考えるための活動や簡単なグループワークをしてもらうこともあります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	科学理論について考える : 科学と非科学の違い
第3-4回	科学理論について考える : 科学的な説明とは
第5-6回	社会学理論の特徴を知る : 自然科学と人文・社会科学
第7-8回	社会学理論の特徴を知る : 社会学理論の特徴
第9-10回	社会学理論の特徴を知る : 社会学理論の意義
第11-12回	社会学理論の特徴を知る : 社会科学と価値判断
第13-14回	「より良い社会」について考える
第15回	社会学理論とわたしたち: 専門知と信頼

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594007301	科目番号 / Course code	05940073
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	倫理学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Ethics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 康貴		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 康貴		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 康貴		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kktamura1212 nagasaki-u.ac.jp (を@に変更してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「善悪」や「正邪」のような、人間の生にまつわる価値の問題にできるだけ明確に答えようとするのが倫理学です。この授業では、映画等の資料を用いながら、倫理学の代表的なトピックについて学んでいきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の倫理思想を学び、それぞれの特徴を理解する(分野・領域を超えて汎用可能な技能) ・他者の考えの検討を通し、自分の考えを批判的に考察できるようになる(社会の多様性を理解) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献(50%)、期末レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】参考文献を読むなどして、次回のテーマについて事前にある程度の予備知識を得ておく(2h) 【復習】参考文献を読むなどして、各回のテーマの理解を深める(2h)		
キーワード/Keywords	倫理、道徳、映画		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示・紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	授業は対面形式で実施する予定です。		

学生へのメッセージ/Message for students	高校の公民科目としての「倫理」とは異なり、「倫理学入門」では毎回ひとつのトピックをのんびりじっくり考えていきます。「正義」や「愛」など、扱うトピックは抽象的なものが多いですが、実際の授業ではなるべく具体的な話をするつもりです（そのための映画）。「ああ、アレのことね！」という感じの理解に至るまで、いくらでも質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週	初回ガイダンス / 嘘について
第2週	自分らしさについて
第3週	正義について
第4週	スポーツについて
第5週	動物について
第6週	愛について
第7週	幸福について
第8週	全体のまとめ / 期末レポート課題提示

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594007501	科目番号 / Course code	05940075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	経済から見る世界と日本(人文・社会科学科目) / The World and Japan in Economic Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部以外		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵)キャンパス本館 6階624号室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	最初の授業でお知らせします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モノ・サービス、お金、人、情報が、頻繁にかつ大量に国境を越えて移動する時代となり、日本と諸外国との関係が多分野において深まっています。本講義では、こうしたグローバル化社会における日本と世界との関係について、主に経済の観点からの課題や日本との関係が深い諸外国の状況について考察していきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国で何が起きているかを自ら調べることができるようになる(、 、 、) ・ 諸外国での出来事が日本にどのような影響を及ぼし得るかを考え、説明することができるようになる(、 、 、) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各日の講義終了後の小テスト(7回) : 小計60点 課題(2回) : 小計40点 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	予習 : LACSに掲載された講義資料を読み、不明な用語等があれば調べて確認する。(2h) 復習 : 講義資料の再読及び小テストの実施により、理解を確実なものにする。(2h)		
キーワード/Keywords	世界貿易機関(WTO)、経済連携協定(EPA)、貿易統計、国際収支統計		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料は事前にLACSに掲載します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	国際関係に関心のある学生だけでなく、外国のことなど自分や日本には関係ないと思っている学生の受講も歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木崇文 財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、OECD(DAC)等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等）を担当、ベルギー（WCO）及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。 上記の実務経験を踏まえた講義を行います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序論（イントロダクション）
第2回	世界と日本の経済関係
第3回	世界と日本の経済関係
第4回	世界と日本の経済関係
第5回	世界と日本の経済関係
第6回	世界と日本の経済関係
第7回	アジアと日本の経済関係
第8回	アジアと日本の経済関係
第9回	欧州と日本の経済関係
第10回	北米と日本の経済関係
第11回	中南米と日本の経済関係
第12回	アフリカと日本の経済関係
第13回	食料安全保障
第14回	エネルギー安全保障
第15回	総括

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594007701	科目番号 / Course code	05940077
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	不登校と多様な学びを考える(人文・社会科学科目) / School Nonattendance and Alternative Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 特に予定がない日時ならいつでも対応します。 但し、LACSでのメッセージ経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は、日本における不登校現象と、不登校の児童生徒が学校外で学ぶ場所としての「多様な学びの場」についての理解を深めることを目指します。</p> <p>日本では「不登校」という社会現象があります。文部科学省は「病気を除いた心理的・情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により年間30日以上学校を欠席すること」を「不登校」として定義しています。不登校の児童生徒には、学校教育法第一条に定められた学校(一条校)に行くこと以外の選択肢が基本的には認められていません。このため、日本では「不登校」は社会問題とみなされる風潮があります。しかし、これは日本特有の現象です。</p> <p>諸外国では時代と共に学校外での「多様な学びの場」(Alternative Education)の存在が法律等で認可され、公的に認められてきたため、不登校という社会現象そのものが消失していきました。普通の学校に行くことを望まない子どもは「多様な学びの場」を活用して教育・学習を進めた後に大学等へ進学、もしくは就職をしています。</p> <p>一方日本では、学校外での学びは未だ公的にも法的にも認められていません。そのため、不登校の児童生徒は、学校に行けない/行かないままになるか、あるいは私費で学校とは異なる学習方法を用いる学びの場を選んで利用しています。これが「多様な学びの場」(オルタナティブ教育)と呼ばれる組織・団体等です。</p> <p>この科目では、日本における不登校現象の背景や現状および多様な学びの場について解説を行い、日本における不登校現象をいかに解消していけばよいか、その方策を一緒に考えていきます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における不登校現象について理解することができる。 ・不登校と多様な学びに関する諸問題について自分の考えを述べることができる ・自分と異なる意見を持つ他者と話し合いながら問題解決に取り組むことができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワーク・課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1)全体の2/3以上の出席及び(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください)
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、授業中及び授業後にLACSを通じてワーク(課題)を提出してもらいます。そのため、必ずPCを持参すること。
キーワード/Keywords	多様な学び、子どもの権利条約、教育機会確保法、フリースクール、ホームスクーリング、デモクラティックスクール
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。(その時間の出席は認めません)授業開始時には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらおう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では不登校現象について客観的に捉え直す視点を培い、代替策としての「多様な学びの場」について理解する力を身につけていくことをねらいとしています。 不登校や多様な学びの場について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション&不登校のイメージを探索する
第2回	日本における不登校現象の特異性とその背景
第3回	学校に行けないのはなぜか?(1)
第4回	学校に行けないのはなぜか?(2)
第5回	なぜ多様な学びが必要か~非認知能力の観点から~(1)
第6回	なぜ多様な学びが必要か~非認知能力の観点から~(2)
第7回	子どもの権利条約
第8回	教育機会確保法
第9回	ホームスクーリング(1)
第10回	ホームスクーリング(2)
第11回	フリースクール

第12回	不登校特例校
第13回	イエナプラン
第14回	シュタイナー教育
第15回	日本の教育政策の最新動向
第16回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594008701	科目番号 / Course code	05940087
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	文化人類学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Cultural Anthropology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	増田 研 / Masuda Ken		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部・総合教育研究棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2923		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後(水曜日:5限)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文化人類学は「文化を通して人類を考える」グローバル理解のツールです。このツールを身につけることで、人類文化の普遍性(人間だったらだいたい共通している文化)と、個性性(地域による文化の違い)を理解する道が開けます。多文化共生の時代に、異文化理解は不可欠です。しかし何をもって異文化を「理解した」と言えるのでしょうか。そもそも文化が「異なる」とはどのようなことを指して言うのでしょうか。この講義では文化人類学への入口として、いくつかのテーマについて講義と教室でのディスカッションを通じて理解を進め、その思考法を現代の自らの生活環境において使いこなせるようにすることを目標としています。		
授業到達目標/Course goals	(1) いわゆる文化の違いについて、文化人類学の専門用語を用いて説明できるようになる。 (2) 現代日本における日常実践を、文化人類学のフレームワークを用いて説明できるようになる。 (3) 任意の地域において課題を設定し、人類学的なフィールドワークを立案できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークへの貢献20%、レスポンスペーパー40%、最終レポート40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義に必要な資料(コースパック・日本語文献)をLACSで配付します。これを事前に読んでおくことが必要です。また講義の後にウェブフォームを用いてレスポンスを回収します。教室にはパソコンを持参してください。		
キーワード/Keywords	文化多様性、フィールドワーク、比較、社会構造、日常生活		
教科書・教材・参考書/Materials	コースパックをLACSで配付します。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義は原則として、講義室にて対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	文化 ・人間は文化的生物です。何気なく使っている「文化」という言葉（概念）を基本に立ち返って理解します。
2	地理 ・人間は海・山・川・野原なくして生きてはいけません。地図と衛星写真を用いたワークを通じて、ヒトがどんな環境を選ぶ、どんな生活スタイルを作り上げてきたかを考えます。
3	生業 ・生業とは「食糧獲得手段」です。ヒトは食べなければ生きられません。その食べ物は自然から採ってくるか、自ら生産するか、いずれかによって手に入れます。環境の違いに応じた生業の違いを、生態人類学の基礎的な枠組みにしたがって理解します。
4	言語 ・言語の獲得が人類社会の発達をもたらしました。なぜ私たちに言語が必要なのか、言語があることで何ができるようになったのか、異なる言語のあいだの「翻訳」は可能なのか。じゃんけんゲームと色見本ワークを通じて考えます。
5	家族・親族(1) ・この世界に、家族のかたちは無数にあれど、家族という制度をもたない社会はまずありません。つまり家族や親族という制度は、人類社会に必須の仕掛けとして作り出され、定着してきたのです。この授業では、家族・親族システムを人類学がどのように理論化したかを学び、それがどのような機能を発揮してきたかという点を、シミュレーションワークを通じて考えます。
6	家族・親族(2) ・この世界に、家族のかたちは無数にあれど、家族という制度をもたない社会はまずありません。つまり家族や親族という制度は、人類社会に必須の仕掛けとして作り出され、定着してきたのです。この授業では、家族・親族システムを人類学がどのように理論化したかを学び、それがどのような機能を発揮してきたかという点を、シミュレーションワークを通じて考えます。
7	経済(1) ・私たちはなぜ「お金」と「パン」を交換できるのか。なぜ友だち同士がプレゼントしあうのか。なぜ食えもしない一万円札をもらおうと嬉しいのか。経済は謎だらけです。ここでは経済人類学の「贈与と交換、互酬性」という概念を武器として、私たちの日常の経済活動を人類学的に考える思考法を身につけます。
8	経済(2) ・私たちはなぜ「お金」と「パン」を交換できるのか。なぜ友だち同士がプレゼントしあうのか。なぜ食えもしない一万円札をもらおうと嬉しいのか。経済は謎だらけです。ここでは経済人類学の「贈与と交換、互酬性」という概念を武器として、私たちの日常の経済活動を人類学的に考える思考法を身につけます。
9	政治(1) ・小さな町内会の会長も、日本の総理大臣も、イギリスの国王も、広い意味では統治を行う政治権力者として似たような存在です。しかし500人の社会と10万人の社会では、社会のまとめ方が異なってきます。選挙で選ばれた政治家は民主的なのに、世襲の王様のほうが尊敬されるのはなぜなのでしょう？ 人類社会に必須の「統治」という課題に、新進化主義人類学の枠組みを用いて切り込み、よく知られた世界の権力者一人ひとりの権力の源泉を考えるワークを実施します。

10	<p>政治(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな町内会の会長も、日本の総理大臣も、イギリスの国王も、広い意味では統治を行う政治権力者として似たような存在です。しかし500人の社会と10万人の社会では、社会のまとめ方が異なってきます。選挙で選ばれた政治家は民主的なのに、世襲の王様のほうが尊敬されるのはなぜなのでしょう？ 人類社会に必須の「統治」という課題に、新進化主義人類学の枠組みを用いて切り込み、よく知られた世界の権力者一人ひとりの権力の源泉を考えるワークを実施します。
11	<p>コスモロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの身の回り、どこまでがあなたの知り得る世界ですか？ ヒトは常に空間を切り分け、見えない領域にまで想像力を働かせて世界観（コスモロジー）を発達させてきました。みなさんもやっています。ワークを通じて、私たちの空間の切り分けというとても無意識な実践を見える化します。
12	<p>呪い（のろい）と呪い（まじない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呪い（のろい）も呪い（まじない）も、呪術的思考によって可能となる、ヒトにとって当たり前にあるものです。神社でお守りを買って身につけると、憎い誰かを呪ってやるのが、同じ思考から派生してきたものだとしたらビックリするでしょうか。いえいえ、みなさん、気づいていないだけで日常しっかり「呪」っています。そのことを人類学的なディスカッションを通じて明らかにします。
13	<p>異文化への眼差し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史をふり返ると、文化人類学は異文化への好奇心から始まりました。それは「先進国」の研究者が、「未開の後進国」の遅れた文化を明らかにするという、明らかに偏りのあるアプローチでした。こうした「かつての異文化研究」から脱却するために採り入れられたのが文化相対主義および（非）自文化中心主義という考え方です。異文化への眼差しの設定の仕方について、ワークを通じて考えます。
14	<p>自文化の発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀以降、近代になってからの世界では、交通とメディアの発達によって文化交流が促進されました。そのプロセスでは、地域において当たり前だった食文化や祭などが、来訪者にむけて魅せる（見せる）ためのものとして再発見され、新たな価値を付与されるようになります。この講義では観光人類学による「オーセンティシティ」の概念を学び、歴史的に想像されてきた観光文化の事例を検討します。
15	<p>フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまで学んできた文化理解のフレームワークを用いて、実際にフィールドワークをしてみるとしたら、みなさんはどこへ行って、何をしますか？ ワークを通じてフィールドワークの企画を練り、「文化人類学的フィールドワークの条件」を洗い出す作業を行います。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/04/10 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594008901	科目番号 / Course code	05940089
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	歴史学(人文・社会科学科目) / History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	anegawa nagasaki-u.ac.jp メールを送る際には を@にかえてください。		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL / Tel	2928		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火4, 水4(授業があるターム以外)(このほかの日時も可能ですが、メールでアポイントをとってください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	具体的には東欧のハンガリーにおける「歴史」や「公的記憶」をめぐる政策を扱い、記憶の政治、歴史認識、右翼ポピュリズム政治、新自由主義政治の関係といった問題について考える。		
授業到達目標 / Course goals	社会における「歴史観」の問題を、新自由主義政治との関連から説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加状況30%、期末課題(授業理解度をはかるための論述課題)70%。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	授業内およびLACSによって提示または配布された事前学習用資料による事前学習(2時間)、授業ノートおよび事後学習用資料による復習と小課題提出による事後学習(2時間)		
キーワード / Keywords	歴史認識、歴史修正主義、新自由主義、人種主義、ヨーロッパ		
教科書・教材・参考書 / Materials	LACSにて提示、配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 / Remarks	対面形式で実施します。いわゆる「5類移行」が本当に実施された場合であっても、オンラインに移行しない可能性があります。		
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1, 2 回目	「歴史・記憶の政治」とはどうか(授業の導入)
3, 4 回目	ハンガリーとハンガリー史の概要
5, 6 回目	記念碑と博物館、特にホロコーストの記憶をめぐって
7, 8 回目	「公式の歴史観」の対抗関係
9, 10 回目	歴史観とその背景にある新自由主義政治
11, 12 回目	再分配と人種主義をめぐる新自由主義政治
13, 14 回目	いくつかの理論的な問題について
15 回目	まとめ、質疑応答、課題提示

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/04/10 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594009101	科目番号 / Course code	05940091
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	音楽理論(人文・社会科学科目) / Music Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mikami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	音楽棟3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	音楽理論の内、楽典の領域を主に学習する。		
授業到達目標 / Course goals	音符の構造、楽譜の構造、調性、和音について正しく理解できるようにする。(各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各セクションごとの問題の解答を評価する。予備テストの合計点を基礎点とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前の予習(2H)、LACSの課題を通じた学習(2H)		
キーワード / Keywords	楽典、音楽理論、和音、コードネーム		
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	楽典レベルの音楽理論が理解できていることを前提に授業を始めるので、その領域の不完全な学習しかしていない学生は、あらかじめ準備をしておくこと。例年このシラバスの記載を読んでおらず、授業についてこれない学生がいるので特に注意すること。また、この件に関しては特にケアをしないので、了承の上履修すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 / Remarks	第1回を除き授業は対面で実施します。		
学生へのメッセージ / Message for students	Lacsを使い学習をする。予備テストは講義終了までの間に必ず全部行うこと。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。
第2回	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。
第3回	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。
第4回	音程について(1) 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
第5回	音程について(2) 少し幅の広い音程を学習する。
第6回	音程について(3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
第7回	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
第8回	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称(主音・属音など)を学習する。
第9回	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
第10回	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
第11回	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
第12回	各調とその上に構成される三和音について Iから のローマ数字について学習する。
第13回	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
第14回	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原則を学習する。
第15回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594009301	科目番号 / Course code	05940093
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	今と未来の図書館に遊ぶ(人文・社会科学科目) / Enjoy Thinking about Modern and Future Library		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学図書館は近年、学術情報基盤が整備され、また、ラーニングコモンズなどのアクティブラーニング環境も充実してきている。それに伴い、従来の知の倉庫から、知の交流、知の創造の場へと変革を遂げている。すなわち、図書を収集・閲覧するだけでなく、他者と知的な交流をしたり、さまざまな環境やリソースを活用して新たな知識を創り出す場へと変化している。本授業では、現代の大学図書館の役割や機能について知るとともに、図書館に関する現代的な重要テーマを用いた読む・書く、そして、話し合う・発表するといった問題発見・解決学習を通して、令和新時代の新たな大学図書館の姿を共創する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学図書館の役割や機能について理解する。 2. 現在の大学図書館の問題点を主体的に発見し、改善策を提案することができるようになる。 3. 未来の大学図書館の役割や機能について構想し、他者に的確に伝えることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・課題(30%) ・授業への取り組み状況(40%) ・最終課題(30%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習：授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	大学図書館 知の創造 学習支援 ラーニングコモンズ 学術情報基盤		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	図書館は、大学の教育研究において大きな役割を果たしています。また、皆さんの大学での学びにおいても重要な施設です。普段図書館を利用したことない人も、本授業を通して新たな図書館の姿を共に創りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学生と図書館
第3回	学習支援と図書館
第4回	アクティブラーニング拠点としての図書館
第5回	学術情報基盤としての図書館
第6回	大学の教育研究と図書館
第7回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (basic)
第8回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (basic)
第9回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (intermediate)
第10回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (intermediate)
第11回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (advanced)
第12回	図書館をテーマとした問題発見・解決学習 (advanced)
第13回	未来の図書館について構想する
第14回	未来の図書館について発表する
第15回	未来の図書館について共創する
第16回	本授業のまとめと振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594009501	科目番号 / Course code	05940095
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	インド入門(人文・社会科学科目) / Introductory course for India studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生向け教養選択科目		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や相談はいつでも歓迎です。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、世界的な大国の仲間入りを果たしたインドを取り上げ、国力(パワー)の源泉は何か考察する。そして、今後インドは国際社会でどのように振舞うのか、それは日本や東アジアにどのような影響を及ぼすのか議論する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 国際政治学における国家の国力の考え方を理解できるようになる。() - インドの大国化が国際政治や日本の外交・安全保障に与える影響を考察できるようになる。() - 本講義を通じて、インドのみならず他国や他地域を理解するための様々な論点を学び、批判的に検討できるようになる。() 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(50%)、最終試験(50%)で、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】講義時に説明する次回のテーマについて事前に報道やYoutube等で予習しておくこと(2h) 【復習】講義内容を基にそのテーマについてもう少し自分で掘り下げてみる(2h)		
キーワード/Keywords	インド、国際政治、外交、安全保障、地域研究、民主主義、移民、日印関係、経済、貧困		
教科書・教材・参考書/Materials	特に決まった教科書は使いません。参考書については講義で提示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	インドに少しでも関心があれば大歓迎。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は全て対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	インドには5年住みました。とても面白い国なので面白可笑しく紹介したいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また、在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。インドでは、他にもシンクタンクや私立大学での勤務経験を有する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション： 世界が注目するインドのパワー、インド入門クイズ 対面
第2回	独立後インドが抱えてきたハンディキャップ （植民地下での搾取、印パ分離独立、計画経済等） 対面
第3回	人口の多さや多様性は国力の源泉か、それとも重荷か （世界最大の国勢調査、宗教・カースト分布、言語） 対面
第4回	貧困からの脱却と経済大国への歩み （計画経済、経済破綻、経済改革、しかしまだ残る貧困層） 対面
第5回	世界最大の民主主義国の強みと弱み （連邦総選挙、州議会選挙、選挙の仕組みや主要政党の紹介） 対面
第6回	連邦政府と州政府の攻防 （大統領と首相の役割、議会での議論、連邦政府と州政府の役割分担） 対面
第7回	軍事大国化するインド （軍事力とは何か、政軍関係、中パとの国境紛争、兵器調達の問題点） 対面
第8回	インド外交における戦略的自立 （非同盟政策、印ソ（半）同盟、印米関係、アマノジャク外交） 対面
第9回	インドのエリート達：日本以上の競争・縁故社会 （官僚の能力や権限、流出する頭脳） 対面
第10回	世界に分布するインド移民のパワー 対面
第11回	世界最大の製薬産業とワクチン外交 対面
第12回	インドのソフトパワー：ヨガやボリウッドは国力となりえるか？ 対面
第13回	世界と南アジアにおけるインドと中国の競合 対面
第14回	日印関係の行く末：日本人はインドを理解できるか？ 対面
第15回	まとめ：インドのパワーは本物か？ 対面
第16回	試験 対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230594009701	科目番号 / Course code	05940097
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	グローバル化時代への備え(人文・社会科学科目) / Preparing for the Era of Globalization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko, 郷司 寿朗 / Goji Toshiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko, 郷司 寿朗 / Goji Toshiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部学生向け教養選択科目		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問、相談はいつでも歓迎します。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、グローバル化した社会を生き抜く上で必要な知識や情報収集の方法を学ぶ。外国人と一緒に働く際に知っておいた方がよいマナー、海外で働く際の注意事項、国際的に働く際のCV(職務経歴書)の書き方や仕事への応募の方法やビザの問題等、様々な視点から実践的にグローバル化社会に備える。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - この世界がどれくらいグローバル化されているのか知る。() - グローバル化社会で生き抜く上で必要な知識を得ることができ、自分でも情報収集ができるようになる。() - グローバル化社会で自分がどのように生きていくか考えられるようになる。() 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(50%)、課題(50%)で、60点以上を合格とする。 なお、本講義では15年後になっていたい自分のCVを想像で作成してもらう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で学んだことを基に、講義後に自分の将来を考えながら情報収集や課題作成を行うこと。 (4h)		
キーワード/Keywords	グローバル化、国際化、国際情勢、英語、留学、国際キャリア、外国人		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は全て対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	私は中学生時代に洋画やMTVにはまり海外に関心を持つようになりました。それ以来海外で働きたい熱が続き、これまでに1か月以上住んだ国は加豪露米印泰の6カ国、全て合わせると8年近く海外で生活してきました。その中で私が経験したことや失敗したことなどを踏まえつつ、皆さんが海外に出る前に知っておいた方がよいことなどを紹介していきます。海外に少しでも関心がある方は大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また、在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション： グローバル化社会とは何か。世界はどの程度グローバル化しているのか。 対面
第2回	英語・第二外国語学習のすすめ：英語の資格はどれくらい役に立つのか、海外で働く際の語学力の目安、効果的な英語学習の方法等。 対面
第3回	海外旅行のすすめ：旅行計画の立て方、海外旅行保険の重要性、パスポート、ビザの取得方法等 対面
第4回	留学のすすめ：いつ留学するのが良いのか、留学方法、留学費用の目安や奨学金の探し方、ワーホリ制度の活用等 対面
第5回	国際キャリアのすすめ：海外で働く方法、仕事の種類、国際キャリアのメリット・デメリット等 対面
第6回	国際キャリアのすすめ：事例紹介（ゲストスピーカー） 対面
第7回	国際キャリアのすすめ：事例紹介（ゲストスピーカー） 対面
第8回	国際キャリアのすすめ：国際キャリア構築のノウハウ、CVの作成方法、国際機関の空席ポストの調べ方（実践編） 対面
第9回	日本で暮らす外国人の実情 対面
第10回	外国人と働く、暮らす際のマナー：宗教、食事、文化、差別、バイアス等 対面
第11回	海外でのトラブルへの備え：病気、事故、犯罪、麻薬、飲酒等 対面
第12回	大使館の役割 対面
第13回	最低限知っておくべき国際情勢：外務省海外安全HPを読み解く 対面
第14回	最低限知っておくべき国際情勢：情報収集の方法 対面
第15回	まとめ：プレゼンテーション 対面
第16回	プレゼンテーション 対面

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	長崎歴史文化学(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎史を通じて、長崎の視点から日本史、世界史も学びます。柱になるのはオランダ通詞の業績とキリスト教文化です。長崎と浦上の史跡探訪。ゲーム学習や簡単な聖歌歌唱、聖画模写、工作等が入ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 長崎学を通して学ぶことにより、長崎史の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。 2. 日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 3. 浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって実習することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の課題・感想提出、授業への取り組み・発表10点前後×6回=60点 長崎蘭学の回と最終レポートは15点 実習加算点10点 = 総計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 配布テキストに目を通したうえで講義にのぞむこと。(4h) 復習: テキスト、Q&A集を再読し、理解を確実にするよう努めること。(4h)		
キーワード / Keywords	祭り 巫女 漢字 地名 オランダ通詞 隠れキリシタン 聖歌と聖画 浦上の工業		
教科書・教材・参考書 / Materials	初回到テキスト配布。Q&A集やフィールドワーク冊子は前時に配布。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。コロナ等の状況に応じてオンデマンド教材をラクスで流すこともありますが、その場合は前時の授業やラクスで連絡します。2回予定しているフィールドワークの雨天順延についてもラクスで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と長崎の人たちの業績、また長大の位置する浦上が世界的な殉教の地、工業の地であること、これらを文献や映像、実習、フィールドワークで学びます。なお、天候や感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	原口 茂樹/長崎県公立学校での41年間の授業経験/活水高等学校において10年間の長崎文化学の授業経験(継続中)
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	1.祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女 及び神子と市子 漢字と風土
第2回	2.シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 地名と氏名から探す我々のルーツとなる荘園
第3回	3.長崎くんちの奉納踊りやパイレーツ映画にみる大航海時代と戦国の開港 イエズ会の布教とセミナリヨ グレゴリオ聖歌と聖画 遣欧少年使節
第4回	4.映画「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代 隠れキリシタンの文化実習～天地始之事(朗読)、歌オラショ(歌唱)、御前様お洗濯(描画)、オマプリ作り(紙工作)
第5回	5.<長崎フィールドワーク>(雨天時単元入替) 大波止、出島、岬の教会、各通詞邸跡、自治都市長崎の城壁と堀、勝山代官屋敷・教会跡、会所跡 特別講師：深堀 昭三
第6回	6.引き続き<長崎フィールドワーク> 歴史：立山奉行所、(諏訪神社、マグドナルド碑、堂門橋、桜馬場城、教会跡の春徳寺等) 特別講師：深堀 昭三
第7回	7.長崎FWの振り返り 日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 同僚・本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と弟子・杉田玄白の裏切り
第8回	8.翻訳と造語の実際 二人の子弟、志筑忠雄、本木正栄、吉雄権之助らによる文法の解析とズーフハルマ辞書の完成、シーボルト事件による通詞団の壊滅 オランダ通詞と文法小テスト
第9回	9.<信仰の聖地・浦上フィールドワーク>(雨天時単元入替) サンタクララ教会跡、秘密教会跡、キリシタン墓地、ベアトス様殉教碑、山里小資料館、如己堂・帳方屋敷、浦上街道、ザベリオ堂跡、キリシタン資料館、浦上天主堂・鐘楼・資料館、庄屋屋敷跡 特別講師：深堀 昭三
第10回	10.引き続き<浦上フィールドワーク> 医学部被爆遺構、高谷屋敷内稚桜神社・平ノ宿跡、歴史民俗資料館、天主堂遺壁、平和公園解散 特別講師：深堀 昭三
第11回	11.浦上FWの振り返り 近代分岐・明治の国作りゲーム 唐文化と唐通事 長大と東大、前史の比較 特別講師：深堀 昭三
第12回	12.ベリ－艦隊は佐賀藩築造の長崎・四郎ヶ島台場に勝てたか 幕末金銀流失の真実
第13回	13.大村藩の渡辺昇・鞍馬天狗と新選組、薩長同盟、浦上四番崩れの指揮 同期・長与専斎と衛生 二人の後輩・長岡半太郎による原子模型及び朝永振一郎、湯川秀樹、仁科博士らノーベル賞集団の育成
第14回	14.第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷
第15回	15. ミッションスクールと教養教育、ポップカルチャーの聖地長崎、Q&A解説、長崎学・浦上学レポート、中央への発信、CD製作の試み等
第16回	(予備回、自由実習の継続、質疑応答等)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596004501	科目番号 / Course code	05960045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	大学での学びを共に創る(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Co-creation of Learning at University		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学生にとって、高校までの受動的で知識習得型の学びから、主体的で創造的な学びへと学習観を転換することは必要不可欠である。本授業では、近年の大学教育に関連する重要課題・テーマに関する講義と、それら大学教育のテーマを題材とした読む・書く、そして、話し合う・発表するといったアクティブラーニングの実践を通して、学生に、教育の受け手としての受動的な視点だけでなく、大学教育を対象化し、大学の教育や学びについて主体的・創造的に考える態度や技能の習得を図る。それにより、学生が受動的な学習者から、能動的学習者へと成長することを促す。</p> <p>本授業では演習のテーマとして、大学入試改革、大学教育の質保証、大学での学習支援、大学教養教育のあり方、大学教員の職能開発、大学図書館の役割、地域創生と人材育成など、現代の大学教育における重要課題を用いる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 現在の大学教育の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。 他の受講生とのコミュニケーション活動を通じ、他者との協働による問題発見や解決に必要な態度や技能を身につける。 大学での自身の学びを振り返りながら、今後の自分の大学での学びについて展望し、その実現のための課題と計画を立てることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(30%) ・授業への取り組み状況(40%) ・最終課題(30%) <p>を点数換算する。60点以上で合格。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	<p>事前学習：予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。</p> <p>事後学習：授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。</p>		
キーワード/Keywords	大学教育学 大学での学び 問題発見学習 問題解決学習 アクティブラーニング		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、毎回資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	本科目は、担当教員が、秋田大学の教養教育科目「大学の明日をみんなで創る」で4年間、京都大学の大学院科目「戦略的コミュニケーション 세미나」で8年間、提供してきた内容や方法に創意工夫を施して開講しています。秋田大学での担当科目は毎年度、「学生からの評価が高い授業」に認定されてきました。長崎大学でも、特に、これから、本学で主体的に学んでいこうとする学生、アクティブラーニングに関心のある学生、大学教育を対象とした学問に興味のある学生の積極的な受講を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学教育に関する講義（大学教員とFD）
第3回	演習：大学教育のテーマを用いた「話し合い」
第4回	演習：大学教育のテーマを用いた「話し合い」
第5回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（basic）
第6回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（basic）
第7回	大学教育に関する講義（大学評価と教育の質保証）
第8回	大学教育に関する講義（大学教育における調査）
第9回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（intermediate）
第10回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（intermediate）
第11回	大学教育に関する講義（大学における学習支援）
第12回	学生コースバトルの開催
第13回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（advanced）
第14回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習（advanced）
第15回	大学での教育・学習に関するプレゼンテーション
第16回	本授業のまとめと振り返り